

**治水専用ダムについて**  
**～ 島根県益田川ダムの事例報告 ～**

**平成16年5月20日**



## - 目次 -

1. 益田川ダム的事例紹介  
・ビデオ映写

2. 補足説明

- (1) 益田川ダムの概要
- (2) 治水専用ダムの特徴



# 1. 益田川ダム of 事例紹介



完成予想図

ビデオ映写

- ・ダムの構造及びその特徴
- ・ダム貯水池周辺環境整備

『安全で安心して暮らせる地域をめざして～益田川ダムの建設～』から編集

# ビデオ映写



## 2 . 補足説明

## (1) 益田川ダムの概要

- ・ダムサイト位置
- ・ダムの構造
- ・現在の工事の進捗状況
- ・ダム貯水池周辺環境整備の実施状況

## (2) 治水専用ダムの特徴

## (1) 益田川ダムの概要

# ダムサイト位置図(益田川ダム及び笹倉ダム)

位置図



島根県益田市

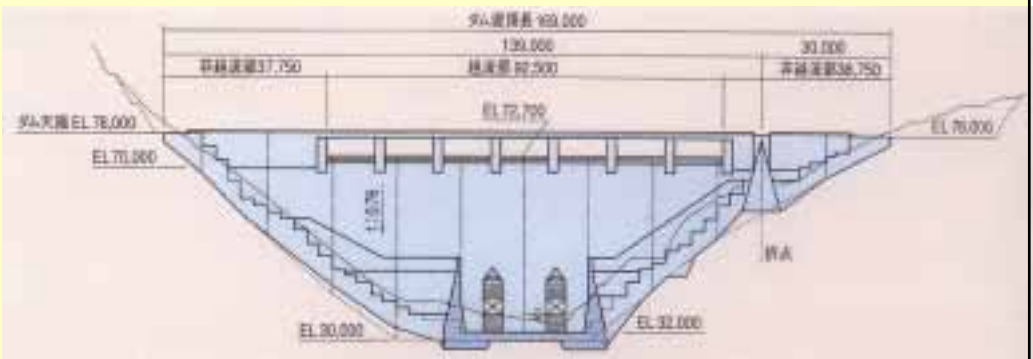


# 益田川ダムの構造

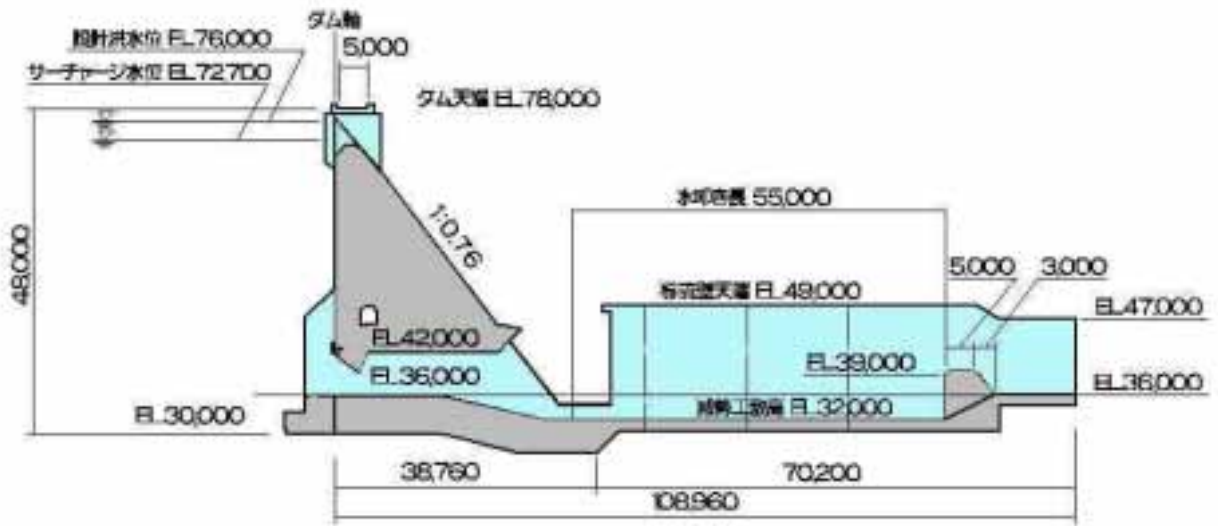
完成予想図



下流面図



## 標準断面図



益田川ダムは、洪水時だけ働く**治水専用ダム**です。  
ゲートレスの常用洪水吐を現況河床高に設け、平常時は  
全く水を貯めない構造です。

## 現在の工事の進捗状況(益田川ダム)







## 益田川ダム周辺環境整備のゾーニング



整備ゾーン	基本テーマ
ファミリーゾーン	美都の発信する集い、体験できる場づくり 施設: オーケーゴルフ場、グランドゴルフ場 等
交流ふれあいゾーン	ダム整備の顔となる内と外の出会いの場づくり 施設: テニスコート、サッカー場、河川公園 等
ダム堤体ゾーン	ホテル舞う里の景観 施設: ホテル公園 等
滞在ゾーン	川を通じて遊ぶ・見る・感じる体験の場づくり 施設: オートキャンプ場 等

## 周辺環境整備状況

<ファミリーゾーン>

グラウンドゴルフ場の整備状況



## 周辺環境整備状況

< 交流ふれあいゾーン >

多目的公園の整備状況





## (2) 治水専用ダムの特徴

## 治水専用ダムの特徴

項目	細別	治水専用ダム	多目的ダム
治水	治水機能	・期待される効果に応じて設定可能	
利水	既得利水に対して	・補給できない (ダムが無い状態と同じ)	・渇水時に補給ができ取水が安定化される
	河川維持流量に対して	・補給できない (ダムが無い状態と同じ)	・渇水時に補給ができ河川維持流量(最小流量)が大きくなる
	貯水池(水没地)の広さ	・通常時には貯水しない ・洪水時に治水容量分の水位上昇の可能性あり	・堆砂容量、不特定容量分の貯水が常時ある ・洪水時にさらに治水容量分の水位上昇の可能性あり
環境	土砂	・土砂の堆積はわずか (ダムが無い状態とほぼ同じ)	・土砂をせき止める
	水質	・流入水質と同じ (ダムが無い状態とほぼ同じ)	・水環境が変化する可能性があり、対策が必要

## 環境面からみた治水専用ダムの特徴

### 「水環境」からみた特徴

#### < 水質 >

・常時においてはダム貯留しないことから、水質(土砂による水の濁り、水温、富栄養化等)への影響は想定されない。

#### < 流況 >

・常時においては流水をダム貯留しないことから、現況の流況が維持されると想定される(現況における流量変動の維持)。

## 「動植物の生息生育環境」からみた特徴

### < 動物・植物 >

- ・多目的ダムに比べてダム容量が小さくなり、直接的に改変を受ける面積は小さい。
- ・常時において湛水しないため、植生をほぼ現状のままに保つことができ、動植物の生息生育環境への影響も小さい。
- ・多目的ダムに比べて土砂の扨止は少なく、現況の河床環境は概ね維持。
- ・洪水の一時的な貯留により、植物の枯渇あるいは動物の忌避の可能性がある。



### < 生態系 >

- ・ダム堤体の構造から、上下流方向の連続性の分断が軽微。生物(魚類等)の移動が可能。
- ・貯水池の出現が洪水時のみで一時的であり、横断方向の連続性の分断が軽微。生物(大型哺乳類)の移動が可能。

## 「景観」からみた特徴

- ・常時において流水をダム貯留しないことから、現況の景観が維持。

## 「人と自然との触れ合いの活動の場」からみた特徴

- ・平常時水がたまっていない空間を利用したレクリエーション等の活用が可能。
- ・貯水池には一時的に湛水するため、河川利用に制約がかかる。